

サヌキ畜産フーズ株式会社【食肉製品トンカツの加工、惣菜の加工】



- 計画策定などの将来設計を行う際に、SDG s を意識することで計画の確度を高めることができた。社内でやらなければならない優先課題が明確化され、やるべきことの指標ツールとしてSDG s を用いることができた。
- 持続可能な社会実現のため、近年の健康志向や環境課題解決のため、大豆やその他の食材を用いた植物由来代替肉商品の開発に注力。

○SDGsを経営に取り入れた手順

- ・2020年の12月頃からSDG s について意識し始め、社長発信で取組を開始。
- ・2021年の7月1日付けの経営計画書を作成する際、**同計画書内にSDG s を盛り込み、取り組むキッカケとした。**同計画書は全従業員に配布。**社内での共有化を図り、理解の浸透を進めた。**
- ・まずは、社内での浸透を図るため、**社長からすべての従業員に向けてSDG s に取り組む旨の説明を実施。**
- ・2021年8月には、**四国経済産業局主催のSDG s 経営勉強会に参加。**
- ・今後は、自治体の登録制度等を活用しながら、対外的に取組を発信していく予定。

○SDG s 経営を通じたメリット

・計画策定などの将来設計を行う際に、SDG s を意識することで計画の確度を高めることができた。**社内でやらなければならない優先課題が明確化され、やるべきことの指標ツールとしてSDG s を用いることができた。**

2021年12月3日

SDGs行動宣言
サヌキ畜産フーズ株式会社

わが社は、企業活動を通じて、社会課題の解決に取り組み、SDGs達成に貢献しています。

項目	関連するSDGsのゴール	SDGs達成に向けた取組
環境 地球温暖化への取組	13 気候変動 14 海洋資源 15 陸域生態系	ソーラー・LED照明の導入による省エネ活動の推進 ・LED、太陽光発電システム等の省エネ設備を積極的に導入 ・省エネを実現した省エネレポートの作成
人権 健康経営の推進	1 人権 3 健康と福祉	・社員の健康と安全の確保、再発防止を目的とした ・働き方改革、外国人技能実習生、特定技能在留外国人の導入 ・健康診断の徹底、ストレスチェックの実施
食糧安全 責任ある企業行動	2 食糧 8 公正な取引関係 12 持続可能な消費と生産	・食料調達（FSQ/C20000、ISO22000）取得 ・アレルギー対応の徹底、フードパントリー設置 ・事業の透明性の向上によるサプライチェーンの構築 ・全社員対象によるSDGs活動の実施
循環・内製・エコ消費の推進 食品メーカーとしてのSDGs	9 産業と技術革新の高度化 11 持続可能な消費と生産 12 持続可能な消費と生産	・食品廃棄物の削減 ・リサイクルの推進 ・製造工程の効率化、廃棄物の削減 ・包装材（大目シート等）の削減

私ども、サヌキ畜産フーズ株式会社の全従業員は、経営理念に掲げる「私たちは、従業員が笑顔で働くことができ、生きがいを持って幸せになると共に、我社に関わる全ての皆様の笑顔と食生活の提供を通じて、広く社会に貢献する」の実現を目指し、地域社会の一員として、さまざまな行事や活動に積極的に参加するとともに、国連が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）達成のため積極的に社会貢献してまいります。

地域と歩む 新たな未来

観音寺信用金庫

○SDGs経営の実践にあたり気をつけたこと

- ・社長だけの取組とならないよう、社内幹部にアンケートを実施。まずは、**幹部への周知徹底に努めた。**幹部へのSDG s 教育を進め、理解が深まった段階で、**すべての従業員向けに発信。**
- ・社員、一人ひとりから「気づき」を集める文化が社内にはあり、社員の声を集めて、社の目標へ反映するよう努めている。



○SDGsの主な取組

- ・**太陽光発電による再生可能エネルギーの活用、社内のLED化や急速冷凍機の更新により省エネルギー化を図る。**
- ・社員の働きやすい環境整備への取組として、労働者災害補償保険とは別で、**全従業員を対象にケガを負った際の補償制度を設けている。**
- ・**パン粉・残さなどの再利用（家畜の餌、堆肥化等）、食品ロス削減や賞味期限延長、オフィスのペーパーレス化や印刷物削減を実施。**

○SDG s を意識した商品開発

- ・持続可能な社会実現のため、近年の**健康志向や環境課題解決のため、大豆やその他の食材を用いた植物由来代替肉商品の開発に注力。**



○専門家の活用

- ・環境負荷低減への取組を実施。省エネ活動を積極的に取り組み、自社で対応できない場合は、**省エネの地域相談プラットフォームである「省エネお助け隊」を活用。**省エネ診断を通し、自社のエネルギー使用状況等を把握。**計画書の作成、計画に対する検証及び見直しについても支援を受け、着実に省エネ活動を実施。**
- ・「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」に定められる**エネルギー使用に係る原単位前年度比1%削減を今後も継続して達成していく。**
- ・省エネを通じてCO2削減に取り組み、地球温暖化防止に貢献すると同時に、**エネルギー経費節約による収益力アップを図る。**

○会社概要

三豊市に本社を構え、1980年、サヌキ畜産加工共同組合として設立。「緑の牧場から食卓まで」をキャッチフレーズに食肉製品や冷凍総菜（トンカツ、ヒレカツ、野菜巻きカツ、チキンカツ、メンチカツ、ハムカツ、ビーフカツ等）の製造・販売、冷凍倉庫事業などを実施。原処理から加工、出荷までの一貫生産体制を確立。

7 再生可能エネルギーの活用

8 働きがいも経済成長も

12 つくる責任 つかう責任